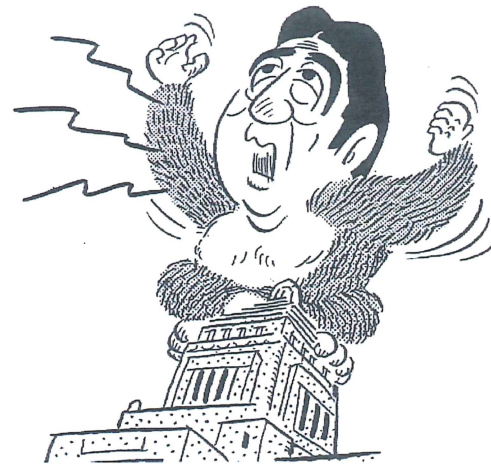


# 安倍内閣が憲法破壊 戦争できる国へつきすすむ



安倍内閣は、日本も戦争できる国に変えようとしています。「集団的自衛権の行使容認」です。これまで、日本の憲法に違反するとされてきたのを、閣議決定によって憲法解釈を変えるというのです。

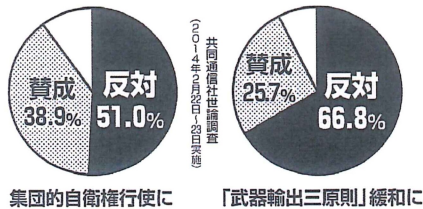
例えば、「公海上の米艦船への攻撃に対する反撃」「米国に向かう弾道ミサイルの迎撃」「日本近隣有事での米軍への攻撃排除」「多国籍軍への参加を可能にし武力使用基準を自己防護から敵の排除にまで広げる」などとしています。これらは、憲法9条で定められた「戦争放棄」「交戦権の放棄」を解釈だけで破壊してしまう暴挙です。

この半世紀、集団的自衛権は、アメリカなどの大国が他国を侵略する口実に使われてきました。有名なのはベトナム戦争、アフガニスタン戦争です。

内閣が勝手に憲法解釈を変えて日本を戦争できる国にする暴挙に抗議をしましょう。

「**集団的自衛権**」とは、日本と密接な関係にある国が武力攻撃を受けたときに、日本が直接攻撃を受けていないにもかかわらず武力攻撃（実力）できる権利で日本の憲法では禁止されてきました。

## 守れ9条の 平和主義



### 許しません 京都への米軍基地設置 戦争に巻き込まれる危険性を強める

京都の最北端、京丹後市・経ヶ岬への米軍基地の設置は、この地域の危険性を格段に高めます。設置されるXバンドレーダーは、千キロ先の野球のボールを見分け、アメリカ本土に飛ぶ弾道ミサイルを探知する目となります。

安倍首相は、集団的自衛権の行使で、米本土へ飛ぶミサイルを迎撃すると言い出しており、この米軍レーダー基地設置は、ますます日本国内を戦争に巻き込む危険なものとならざるをえません。

### 憲法改正賛成の人々も暴挙と

憲法を改正すべきと唱える人々からも、閣議決定で憲法解釈を変えることは大きな問題があると怒りの声が上がっています。

小林節慶応大学教授も「首相の責任で解禁するなどという発想は、そもそも首相の権限（責任）の範囲を超えており、法の支配、立憲主義を無視する暴挙」と怒っています。

### 憲法9条がノーベル賞候補に

ノルウェー・オスロのノーベル委員会は、日本の憲法9条をノーベル平和賞の受賞候補にすることを受理したことがわかりました。これは、日本の市民団体（神奈川県）が「憲法9条にノーベル平和賞を」と推薦していたものです。受賞者は日本国民一人一人を対象として推薦されていました。日本の憲法は戦争放棄を定め、世界から高く評価されてきました。

平和憲法を守り、自衛隊の海外派兵・有事体制に反対する京都共同センター  
連絡先：京都総評気付 075-801-2308

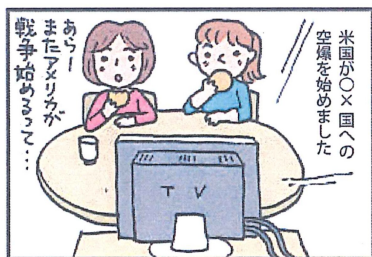
京都自治労連・京都教職員組合 2014.5



危険な動き認めない



ある日、突然・・・



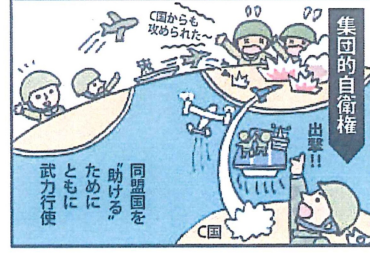
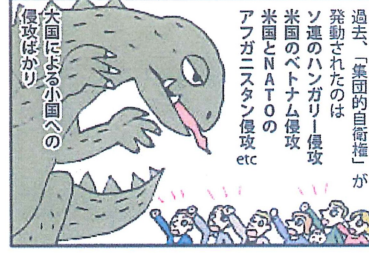
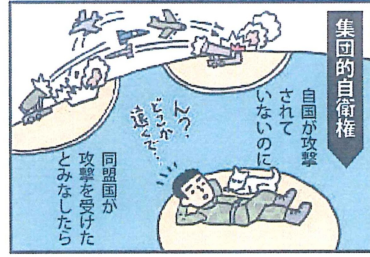
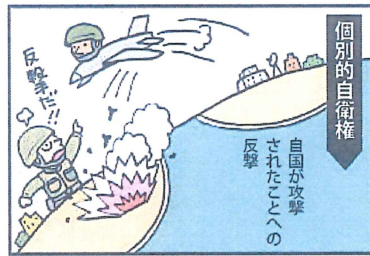
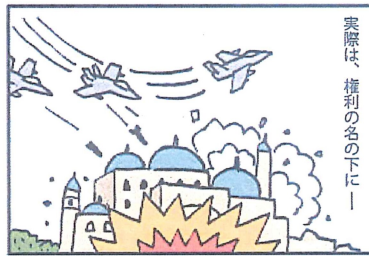
命令に背けば？



行使の実態は



2つの“自衛”



# ナニを守るの？ 集団的自衛権